

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和5年12月11日 No.17

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

人権週間・人権集会



「人権デー」を最終日とする1週間（12月4日～12月10日）は「人権週間」と定められていることから、学校でもこの時期に、「人権」について改めて考える取組を行っています。学級や学年での事前学習を経て、12月8日（金）は、全校で人権集会を行いました。（音楽室と各教室をつないでのリモートによる実施。）

私も、話す機会をもらいましたので、次のような内容を伝えました。

プログラム

- ① はじめの言葉
- ② 校長先生の話
- ③ 2・4・6年 学年発表
- ④ 大小っ子宣言
- ⑤ 歌「友達になるために」
（手話を入れて）
- ⑥ おわりの言葉

- ・みんな、生まれたときから「明るく楽しく生きる」ことが認められていて、それは決して誰にも邪魔されるものではないこと。
- ・「明るく楽しく生きる」とは、「自分勝手に生きていい」ということではない。「明るく楽しく生きる」ことを認められているのは「みんな」なのだから、自分のことだけでなく、「周りのみんな」を大事にした上での「明るさ」や「楽しさ」でなくてはならないこと。
- ・見た目や得意なこと、性格などは人それぞれで、全部が同じ人はいない。みんな、違っているのが当たり前。「周りのみんな」を大事にするということは、友達の良いところを見つけたり、一人一人の違いを認めたりして、それぞれが大切な存在であることを知ることだ。
- ・それなのに、自分と違うからと笑ったり、見た目を馬鹿にしたり、気が合わないからと仲間はずれにしたり、気に入らないからと暴力を振るったり、悪口を言ったりしていないか。（実際にその事実も耳にしている。）
- ・これらはみんな、人権を大切にしていない行動で、「明るく楽しく生きる」とを邪魔している行動だ。「いじめ」だ。よく振り返ってほしい。自分に相手のことを分かってもらう気持ちや、思いやりの気持ちはあるのかどうかを。
- ・いろんな人がいるのだから、いろんな考えもそれだけある。友達と接する中で、腹が立つことや許せない気持ちも出てくることもある。だから、その時の自分の感情や言動にしっかりと向き合うことが必要だ。そして、どういう行動すればいいのか、その都度学びを深めてほしい。（人が傷つくような言葉や行動がなくなるように。）
- ・毎日の心の勉強の積み重ねにより、つらい思いや嫌な思いをする人のいない、つまり、一人一人の人権が守られて、自分らしく生活することのできる、いじめ0の大村小学校をみんなでつくっていきこう。
- ・大村小学校のみんなの心が磨かれて、やさしい気持ちがどんどん広がっていくことを期待している。

※ 各御家庭でも、人権について我が子と語り合う機会をもたれてみてください。

大小っ子宣言

- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」が言える大小っ子になります。
- 一、友達がいやがることをぜったいに言いません。しません。
- 一、助け合い、いじめ0（ゼロ）の大小っ子になります。
- 一、命を大切にして、明るい明日をつくりまします。

ひとつのことばで けんかして
 ひとつのことばで なかなおり
 ひとつのことばで 頭が下がり
 ひとつのことばで 心が痛む
 ひとつのことばで 楽しく笑い
 ひとつのことばで 泣かされる
 ひとつのことばは それぞれに
 ひとつの心を 持っている

『ひとつのことば』

北原白秋